

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 公益財団法人 神戸YWCA

1. 事業名称

神戸YWCA『地域日本語支援普及』プロジェクト

2. 事業の目的

既に日本社会は、多文化社会となったが、日本語を母語としない人たちの中には、生活していく上で必要な情報(職探し、子育てに関する案内等)を得ることが難しく、地域の中で孤立している人も多い。それは、日本語力の不足や、文化的差異から、日本社会に馴染めないことに起因する。これにより仕事を得ることが困難になり、生活の基盤が不安定になるケースも少なくない。外国人生活者のためのプロによる効果的継続的な日本語教育が必要となっている。神戸市内では地域の支援団体による日本語教育、生活相談、医療相談等、また行政の取組による生活支援、自立支援等、が実施されている。しかしながら各支援団体間の連携は緊密ではなく、包括的、効果的な支援に結びつきにくいのが現状である。また、外国人生活者にとって一番身近である地域の日本人との交流は未だ難しい。地域住民と外国人生活者、相互のための異文化理解プログラムの実施が喫緊の課題である。これらのことから、当事業の目的を①日本語が不自由な阪神間の日本語を母語としない外国人生活者(日本国籍含む)が自立した生活を営むために不可欠な日本語教育を提供すること、②それを継続していくための環境作りと体制整備とする。

3. 事業内容の概要

- ① 運営委員会の構成と運営:様々な立場から外国人生活者支援を行っている機関・団体・個人がメンバーとなり、各自抱えている課題と取組の成果を共有、協議する。そして、将来的、長期的支援の目標を達成するために必要な具体的な取組について企画する。
- ② 中核メンバー協議会:それぞれ専門性を持つ団体・個人が会議を持ち、運営委員会で企画された取組を実施していくための協議会、実行員会議を持つ。
- ③ 取組2の日本語教室の実施
- ④ 取組3の地域住民に向けた多文化理解と外国人支援の取組、日本語支援の取組に関する講座を実施。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 5月15日 (水) 15時～17時	2時間	神戸YWCA会館	水野マリ子、八乙女悦範、村西優季、斎藤明子、飛田雄一、福井武司、掛橋智佳子	・事業の趣旨説明。方針の共有と確認 ・事業に関して意見交換。アドバイスをいただく。	・「やさしい日本語」講座の実施方法の検討。 ・協議会の方向付けについて
2	平成25年 9月2日 (土) 15時～17時	2時間	神戸YWCA会館	水野マリ子、飛田雄一、斎藤明子、福井武司、掛橋智佳子	・これまでの経過報告 ・「やさしい日本語」実施に向けて ・異文化理解講座について	・「やさしい日本語」講座実施場所の具体的な提案。主に地域とのつながりをどのように作るか。 ・異文化理解講座の内容と担当の検討
3	平成26年 3月1日 (土) 16時半～18時半	2時間	神戸YWCA会館	水野マリ子、八乙女悦範、村西優季、斎藤明子、福井武司、掛橋智佳子	・これまでの経過報告 ・事業の総括	・地域ネットワークの今後の広がりについて意見交換。 ・異文化理解講座のターゲットについて ・「やさしい日本語」講座の今後の普及と発展について

5. 取組についての報告

○取組1: 地域における長期的日本語教育の普及に関する協議会

(1) 体制整備に向けた取組の目標

各機関、団体がそれぞれの専門性を活かし連携・協働しながら、具体的な取組を実現する。さまざまな立場からの出てきた課題を共有して、連携・協働のもと、講演会やシンポジウム、催しなどにつなぐ。この実績を積み上げて、長期的な連携・協働体制を作る。

(2) 取組内容

日本語教育のカリキュラムにおいて、生活の中で必要な日本語はいわゆる留学生向けのものと同じであってはいけない。地域の日本人社会と融合し、ともに生活するためには、日本語の基礎的な理解と運用に加えて、日本人とのコミュニケーションに必要な日本語が求められる。また日本人社会も外国人生活者とコミュニケーションをはかるための外国人に理解されやすい日本語の使用を意識するべきである。同時に、言葉だけでなく、外国人が日本で生活していること背景や、行政の行っている外国人に対する施策を知ること、また多文化理解の試みなども必要になってくる。

以上の目的のためにメンバーそれぞれの立場からの意見を出し、共有し、課題を抽出する。その課題を取組3のテーマに生かすべく、課題を深める作業を行う。メンバーは、外国人支援側の日本語教師、市の国際交流担当部門、厚労省ハローワーク担当者、地域の支援団体、また日本に定住する外国人労働者、外国人児童の保護者、そして日本人側から外国人生徒とともに学ぶ日本人保護者である。

これらの意見交換を生かし、より生活に有効な日本語教育、また日本人側が学ぶ「やさしい日本語」の意識づけ、異文化理解などに取り組む。これらの取り組みは、行政機関、支援団体等と協働・連携して実施し、これら実績を積み上げることにより、今後の活動の協力体制を作り上げる。

(3) 対象者

日本語教育専門家、行政担当者、外国人支援の専門家、外国人生徒保護者、地域の学校の外国人生徒保護者など

(4) 参加者の総数 9 人

(出身・国籍別内訳)

タイ国1人、中国 1人、日本7人

(5) 開催時間数(回数) 4 時間 (全2回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年 5月27日 16:00~ 18:00	2時間	神戸YWCA会館	9人	日本7 中国1 タイ1	外国人と日本人の共生	・自己紹介 ・事業の趣旨説明 ・テーマの共有 ・それぞれの立場からの現状報告と意見交換	なし	なし
2	平成25年 8月26日 15:00~ 17:10	2時間	神戸YWCA会館	7人	日本6 中国1	外国人と日本人の共生	・各現場でのリサーチを報告 ・報告に基づいて意見交換 ・各取組への具体的提案	なし	なし

(7) 参加者の募集方法

・神戸YWCAのこれまでの活動で培った人脈から依頼した。

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

・就労についてのやりとり

就労を求める外国人には日本式のやり方を伝えなければ目標に届かないという意見に対して、異文化理解の必要性に立つ立場からの意見も出て、互いのやり取りにより現状理解が深まった。

・やさしい日本語が必要な場面についてのやりとり

地域住民が外国人と接する場面をいくつか想定し、その場合にどのように話しかければよいコミュニケーションがとれるか、考えた。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

協議会メンバーは、受け入れ側の日本人と渡日の外国人双方に集ってもらった。これにより、それぞれの経験や考え方が双方向で理解、共有できた。また、双方が接する生活上の場面においても様々な見方が共有できた。例えば、地域や学校PTA、また求職活動などである。

これらの理解と共有から、今年度具体的な活動につなげるポイントが見えてきた。異文化理解、日本人のための「やさしい日本語」講座の必要性である。そして、「やさしい日本語」は、外国人に関わりを持ちある程度の理解を持つ日本人ではなく、地域在住の外国人に関わったことのない一般の日本人への普及がポイントになることも確認できた。このことから「異文化理解」及び「やさしい日本語」講座の取り組みの具体的な部分が固まった。

以上の内容が話し合われた2回の委員会で当初の目的が達成されたために、協議会の役割はこれで終え、実際の活動につなげることになった。

○取組2:「生活のための基礎日本語」クラス

(1) 体制整備に向けた取組の目標

取組1及び運営委員会で検討・協議された地域のニーズを踏まえ、基礎的な日本語教育を受ける機会が乏しい外国人生活者(日本国籍を含む)に対する集中的かつ効果的な日本語教室の実施。

保育付講座としたことで、幼児のいる母親の参加もあった。保育に関しては、1期は生活者としての外国人、2期は地域住民の協力を得て実施したことで、母親への支援が広がったと思われる。

(2) 取組内容

事業の概要で記載した日本語が不自由な外国人(日本語国籍含む)が抱える課題を踏まえ、基礎的な日本語を身に付けるための日本語教室を実施する。

日本語力向上を支えるための基礎日本語指導内容は以下の通り。

- ・生活に役立つ日本語を集中的に身に付けるためのカリキュラムを用いる。
同時に、誤解を招かないような丁寧で正しい日本語の話し方の修得を目指す。
- ・基礎的なひらがな、カタカナ、簡単な漢字の読み書き
- ・コミュニケーション力をつけるための会話中心の授業。発音指導を含む。
- ・運用力をつけるための日本語文法の構造理解
- ・日本の文化と習慣を取り入れた会話練習

(3) 対象者

長期滞在者及び生活者で、来日してから正式な日本語教育を受けていない16歳以上の日本語が不自由な外国人生活者(日本国籍含む)。

(4) 参加者の総数 17 人(第一期、二期引き続いて受講した受講者がいたため)

(出身・国籍別内訳)
中国2、ベトナム3、アフガニスタン1、イギリス1、インド1、ニュージーランド1、ケニア1
エジプト1、韓国1、フィリピン3、パキスタン1

(5) 開催時間数(回数) 103時間(全45回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年6月17日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	6	ニュージーランド・中国・アフガン・ケニア・ベトナム・パキスタン以上各1人	・自己紹介 ・文字指導	・～から来ました／～に住んでいます／家族構成 ・ひらがな指導1	櫻井かおり	
2	平成25年6月18日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	7	ニュージーランド・中国・アフガン・ケニア・ベトナム・パキスタン・エジプト各1人	・名詞文1 ・文字指導	・これ・それ・あれは(もの／場所)です。 ・時間、曜日の言い方 ・～は ～時から ～時までです。 ・ひらがな指導2	後藤範子	

3	平成25年6月19日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	7	ニュージー ランド・中 国・アフガ ン・ケニア・ ベトナム・パ キスタン・エ ジプト 各1人	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞文1 (移動の動 詞) ・時制1(動 詞) ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・(場所)へ 行きます／来ま す／帰ります ・(乗り物)で (場所)へ 行 きます ・ひらがな指導3 	福井武司	
4	平成25年6月20日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	7	ニュージー ランド・中 国・アフガ ン・ケニア・ ベトナム・パ キスタン・エ ジプト 各1人	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞文2 (他動詞) ・形容詞文1 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べます、飲みます、 買います、見ます、勉強しま す ・(場所)で 他動詞 ・高い／安い／熱い／おいし い／面白い／難しい ・ひらがな指導4 	斎藤明子	
5	平成25年6月24日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	6	ニュージー ランド・アフ ガン・ケニ ア・ベトナム・ パキスタン・ エジプト 各1人	<ul style="list-style-type: none"> ・前週の復習 ・要求を表す 表現 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習クイズ(語彙・文型) ・～たいです。 ・ひらがな指導5 	櫻井かおり	
6	平成25年6月25日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	6	ニュージー ランド・中 国・アフガ ン・ケニア・ パキスタン・ エジプト 各1人	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞文2 ・数字 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・この・その・あの～は～で す。 ・大きい数字／いくら→買い 物 ・ひらがな指導6 	後藤規子	
7	平成25年6月26日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	6	ニュージー ランド・中 国・アフガ ン・ケニア・ ベトナム・パ キスタン 各1人	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞文2 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞 ・形容詞の修飾用法 ・ひらがな指導7 	福井武司	
8	平成25年7月1日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	6	ニュージー ランド・中 国・アフガ ン・ケニア・ ベトナム・パ キスタン・エ ジプト 各1人	<ul style="list-style-type: none"> ・前週の復習 ・ガ格を取る 述語 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習クイズ(語彙・文型) ・～が すきです／わかりま す／あります(所有) ・ひらがな指導8 	福井武司	
9	平成25年7月2日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	6	ニュージー ランド・中 国・アフガ ン・ケニア・ ベトナム・パ キスタン 各1人	<ul style="list-style-type: none"> ・(理由)か ら、～。 ・存在文／所 在文 ・位置詞 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・病気表現 ～から。 ・あります／います(存在) ・上、下、前、後ろ、右、左、 中、外 他 ・カタカナ指導1、ディクテー ション 	後藤範子	

10	平成25年7月3日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	6	ニュージーランド・中国・ケニア・ベトナム・パキスタン・エジプト各1人	・時制2(名詞、形容詞) ・文字指導	・名詞・形容詞の過去 ・カタカナ指導2、ディクテーション	櫻井かおり	
11	平成25年7月8日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	7	ニュージーランド・中国・アフガン・ケニア・ベトナム・パキスタン・エジプト各1人	・前週の復習 ・目的を表す表現 ・二格を取る動詞 ・動詞のグループ分け ・文字指導	・復習クイズ ・(場所)へ(動詞)に行きます ・あげます／もらいます／電話をかけます／メールを書きます ・カタカナ指導3、ディクテーション	櫻井かおり	
12	平成25年7月9日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	6	ニュージーランド・中国・アフガン・ケニア・ベトナム・パキスタン各1人	・依頼の表現 ・現在進行形 ・文字指導	・～てください ・今～ています ・て形(ex: 食べて、飲んで、して) ・カタカナ指導4、ディクテーション	後藤規子	
13	平成25年7月10日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	7	ニュージーランド・中国・アフガン・ケニア・ベトナム・パキスタン・エジプト各1人	・許可を求める表現 ・禁止を表す表現 ・文字指導	・～てもいいですか ・～ないでください ・ない形(ex: 食べない、飲まない、しない) ・ディクテーション	福井武司	
14	平成25年7月16日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	7	ニュージーランド・中国・アフガン・ケニア・ベトナム・パキスタン・エジプト各1人	・第4週復習 ・可能を表す表現 ・親しい人との会話 ・文字指導	・復習クイズ ・(名詞)ができます ・辞書形とない形を使ったカジュアルな会話 ・辞書形(ex: 食べる、飲む、する) ・ディクテーション	後藤規子	
15	平成25年7月17日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	7	ニュージーランド・中国・アフガン・ケニア・ベトナム・パキスタン・エジプト各1人	・総復習 ・電話での会話	・ポストテスト／語彙クイズ ・電話での対応練習	斎藤明子	

第一期 補講(1)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年6月27日 13:30~14:30	1時間	神戸YWCA会館	1	フィリピン	ひらがな書き、読み	読み50音(清濁)・拗音 書きあかが行	斎藤明子	
2	平成25年7月4日 13:30~14:30	1時間	神戸YWCA会館	1	フィリピン	ひらがな書き、読み	復習 書き・読み さただ行	今西庸子	
3	平成25年7月8日 13:30~14:30	1時間	神戸YWCA会館	1	フィリピン	ひらがな書き、読み	復習 書き・読み だなはばば行	今西庸子	
4	平成25年7月11日 13:30~14:30	1時間	神戸YWCA会館	1	フィリピン	ひらがな書き、読み	復習 書き・読み ま行	今西庸子	
5	平成25年7月18日 13:30~14:30	1時間	神戸YWCA会館	1	フィリピン	ひらがな書き、読み	復習 書き・読み やらわ行	今西庸子	
6	平成25年7月22日 13:30~14:30	1時間	神戸YWCA会館	1	フィリピン	ひらがな書き、読み	復習 書き・読み 拗音	今西庸子	
7	平成25年7月25日 13:30~14:30	1時間	神戸YWCA会館	1	フィリピン	ひらがな書き、読み	復習 書き・読み 長音・拗長音 助詞の表記	斎藤明子	
8	平成25年7月30日 13:30~14:30	1時間	神戸YWCA会館	1	フィリピン	ひらがな書き、読み	復習 書き・読み 促音 かたナ、漢字の紹介	斎藤明子	

第一期 補講2

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年7月17日 13:30~14:30	1時間	神戸YWCA会館	1	韓国	ひらがな書き、読み 会話	読み50音(清濁) 数字 自己紹介	斎藤明子	
2	平成25年7月24日 13:30~14:30	1時間	神戸YWCA会館	1	韓国	ひらがな書き、読み 会話	復習 書き・読み あ行 挨拶語	西岡美幸	
3	平成25年7月31日 13:30~14:30	1時間	神戸YWCA会館	1	韓国	ひらがな書き、読み 会話	復習 書き・読み かさ行 時間の言い方 ~をたべます、のみます	西岡美幸	
4	平成25年8月7日 13:30~14:30	1時間	神戸YWCA会館	1	韓国	ひらがな書き、読み 会話	復習 書き・読み がざ行 動詞時制	西岡美幸	

5	平成25年8月21日 13:30～ 14:30	1時間	神戸YWCA 会館	1	韓国	ひらがな書き、読み 会話	復習 書き・読み た行 ～はいくらですか。高いです。安いです。	西岡美幸	
6	平成25年8月28日 13:30～ 14:30	1時間	神戸YWCA 会館	1	韓国	ひらがな書き、読み 会話	復習 書き・読み あ行～た行復習 ～は どこですか。 となり、まえ	西岡美幸	
7	平成25年9月 4日13:30 ～14:30	1時間	神戸YWCA 会館	1	韓国	ひらがな書き、読み 会話	復習 書き・読み なは行 これは 日本語で なんですか。	西岡美幸	
8	平成25年9月11日 13:30～ 14:30	1時間	神戸YWCA 会館	1	韓国	ひらがな書き、読み 会話	復習 書き・読み や行 ～は ～時から～時までです。	西岡美幸	

第二期 クラス2

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年9月17日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館		中国2・ベトナム2・アフガン・タイ・インド・イギリス・ニュージーランド 各1	・自己紹介 ・趣味について話す ・依頼の表現 ・日常生活について話す ・文字指導	・～から来ました／～に住んでいます／家族構成 ・趣味は～ことです。(辞書形) ・～てください ・～たり～たり(た形) ・ディクテーション	後藤範子	
2	平成25年9月18日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館		中国2・ベトナム2・アフガン・タイ・インド・イギリス・ニュージーランド 各1	・経験について話す ・許可を求める表現 ・禁止を表す表現 ・行為の授受 ・文字指導	・～たことがあります ・～てもいいですか／～ない てください ・～てあげます／てもらいます／くれます ・ディクテーション	福井武司	
3	平成25年9月19日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館		中国2・ベトナム2・アフガン・インド・イギリス・ニュージーランド 各1	・親しい人との会話 ・説明を求める表現 ・文字指導	・普通形 (食べる／食べない／食べた／食べなかった) ・～んですか。 ・ディクテーション	櫻井かおり	

4	平成25年9月24日 10:00~ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	8	中国1・ベトナム2・アフガン・タイ・インド・イギリス各1	・前週の復習 ・～とき、～ ・様態の表現 ・文字指導	・復習クイズ ・～とき、～(～たり～たりも使う) ・(形容詞)そうです／今にも(動詞)そうです。 ・ディクテーション	後藤範子	
5	平成25年9月25日 10:00~ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	9	中国2・ベトナム2・アフガン・タイ・インド・イギリス・ニュージーランド各1	・可能表現 ・文字指導	・可能動詞 ・ディクテーション	斎藤明子	
6	平成25年9月26日 10:00~ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	8	中国2・ベトナム2・アフガン・タイ・インド・イギリス各1	・限定の表現 ・可能表現 ・対比の表現 ・変化の表現 ・文字指導	・しか～ません ・見えます・聞こえます ・対比の「は」 ・(形容詞・名詞)なります／(動詞)ようになります ・ディクテーション	櫻井かおり	
7	平成25年9月30日 10:00~ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	8	中国2・ベトナム2・アフガン・タイ・インド・イギリス各1	・前週の復習 ・総合練習 ・文字指導	・復習クイズ ・これまで学習した文法項目を使った会話づくりと発表 ・ディクテーション	櫻井かおり	
8	平成25年10月1日 10:00~ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	6	中国1・ベトナム2・アフガン・インド・イギリス各1	・予定を表す表現1 ・前置きの表現 ・文字指導	・～ようと思っています。／もう／まだ ・意向形(ex: 食べよう、飲もう、しよう) ・～んですが、～か ・ディクテーション.	後藤範子	
9	平成25年10月2日 10:00~ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	8	中国1・ベトナム2・アフガン・タイ・インド・イギリス各1	・習慣の行動を表す表現 ・予定を表す表現2 ・準備、措置、放置の表現 ・文字指導	・毎日／いつも～ています ・～つもりです／予定です ・～ておきます ・ディクテーション	福井武司	
10	平成25年10月7日 10:00~ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	8	中国2・ベトナム2・アフガン・タイ・イギリス各1	・前週の復習 ・総合練習 ・文字指導	・復習クイズ ・これまで学習した文法項目を使った会話づくりと発表 ・ディクテーション	櫻井かおり	

11	平成25年 10月8日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館		6	中国1・ベトナム2・タイ・インド・イギリス各1	・仮定の表現 ・文字指導	・もし～たら／いくら～ても ・ディクテーション	後藤範子	
12	平成25年 10月9日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館		8	中国2・ベトナム2・アングラン・タイ・イギリス各1	・原因・理由の表現 ・文字指導	・～ので、～ ・ディクテーション	福井武司	
13	平成25年 10月15日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館		5	中国2・ベトナム2・イギリス各1	・動詞の名詞化 ・文字指導	・(動詞)のが、のは、のを ・ディクテーション	後藤範子	
14	平成25年 10月16日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館		7	中国2・ベトナム2・タイ・イギリス各1	・不確かなことを表す表現 ・文字指導	・(疑問詞)か、わかりません ・～かどうか、わかりません ・ディクテーション	福井武司	
15	平成25年 10月17日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館		7	中国2・ベトナム2・タイ・イギリス各1	・総復習 ・スピーチ発表	・ポストテスト ・既習文型を使ったスピーチ	櫻井かおり	

第二期 クラス1

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名	
1	平成25年9月17日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館		4	パキスタン 1・フィリピン 2・ケニア1	・自己紹介 ・文字指導	・～から来ました／～に住んでいます／家族構成 ・ひらがな指導1	澤村典子	
2	平成25年9月18日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館		3	パキスタン 1・フィリピン 2・	・名詞文1 ・文字指導	・これ・それ・あれは (もの／場所)です。 ・時間、曜日の言い方 ・～は ～時から ～時までです。 ・ひらがな指導2	松岡弘子	

3	平成25年9月19日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	3	パキスタン 1・フィリピン 2・	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞文1 (移動の動詞) ・時制1 (動詞) ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・(場所)へ 行きます／来ます／帰ります ・(乗り物)で (場所)へ 行きます ・ひらがな指導3 	斎藤明子	
4	平成25年9月24日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	2	パキスタン 1・フィリピン 1・	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞文2 (他動詞) ・形容詞文1 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べます、飲みます、買います、見ます、勉強します ・(場所)で 他動詞 ・高い／安い／熱い／おいしい／面白い／難しい ・ひらがな指導4 	松岡弘子	
5	平成25年9月25日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	3	パキスタン 1・フィリピン 2・	<ul style="list-style-type: none"> ・前週の復習 ・要求を表す表現 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習クイズ(語彙・文型) ・～たいです。 ・ひらがな指導5 	澤村典子	
6	平成25年9月26日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	3	パキスタン 1・フィリピン 2・	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞文2 ・数字 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・この・その・あの～は～です。 ・大きい数字／いくら→買い物 ・ひらがな指導6 	斎藤明子	
7	平成25年9月30日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	2	フィリピン2・	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞文2 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞 ・形容詞の修飾用法 ・ひらがな指導7 	澤村典子	
8	平成25年10月1日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	3	パキスタン 1・フィリピン 2・	<ul style="list-style-type: none"> ・前週の復習 ・ガ格を取る述語 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習クイズ(語彙・文型) ・～が すきです／わかります／あります(所有) ・ひらがな指導8 	松岡弘子	
9	平成25年10月2日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	2	パキスタン 1・フィリピン 1・	<ul style="list-style-type: none"> ・(理由)から、～。 ・存在文／所在文 ・位置詞 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・病気表現 ～から。 ・あります／います(存在) ・上、下、前、後ろ、右、左、中、外 他 ・カタカナ指導1、ディクテーション 	斎藤明子	

10	平成25年 10月7日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	1	フィリピン1	<ul style="list-style-type: none"> ・時制2(名詞、形容詞) ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞・形容詞の過去 ・カタカナ指導2、ディクテーション 	澤村典子	
11	平成25年 10月8日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	3	パキスタン 1・フィリピン 2・	<ul style="list-style-type: none"> ・前週の復習 ・目的を表す表現 ・二格を取る動詞 ・動詞のグループ分け ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習クイズ ・(場所)へ(動詞)に行きます ・あげます／もらいます／電話をかけます／メールを書きます ・カタカナ指導3、ディクテーション 	松岡弘子	
12	平成25年 10月9日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	0					全員休みのため キャンセル
13	平成25年 10月15日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	3	パキスタン 1・フィリピン 2・	<ul style="list-style-type: none"> ・許可を求める表現 ・禁止を表す表現 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・～てもいいですか ・～ないでください ・ない形(ex: 食べない、飲まない、しない) ・ディクテーション 	松岡弘子	
14	平成25年 10月16日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	2	パキスタン 1・フィリピン 1	<ul style="list-style-type: none"> ・第4週復習 ・可能を表す表現 ・親しい人との会話 ・文字指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習クイズ ・(名詞)ができます ・辞書形とない形を使ったカジュアルな会話 ・辞書形(ex: 食べる、飲む、する) ・ディクテーション 	澤村典子	
15	平成25年 10月17日 10:00～ 13:20	3時間	神戸YWCA 会館	3	パキスタン 1・フィリピン 2・	<ul style="list-style-type: none"> ・総復習 ・電話での会話 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ ・修了式 ・インタビュー 	斎藤明子	

(7) 参加者の募集方法

阪神間の各市役所、区役所、ハローワーク、日本語ボランティア教室、外国人生活者支援団体、個人支援者等に広報の協力を要請。また、神戸YWCAホームページ、Facebook等に掲載した。

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

1)第一期 第3日

- ・前日の学習内容の復習をしたが、皆よく覚えていた。
- ・「場所」と「行きます、来ます、帰ります」のセットを扱った。初級のテキストでは「スーパーへ行きます」の
- ・文字指導では前日のディクテーションと「ま行〜ん」まで導入した。2名ほど、音と表記が結びつかない学習者がいる。



修了パーティ風景

○取組3-1:多文化共生社会の実現に向けた講座「やさしい日本語」講座

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日本語教育、行政、外国人支援団体などそれぞれの専門分野を持つ機関・団体と協働し、外国人生活者

(2) 取組内容

地域在住日本人が異文化理解と、「やさしい日本語」という地域の外国人とコミュニケーションの方法を学ぶことによつ

(3) 対象者 地域在住日本人、役所窓口職員、神戸YWCA会員等

(4) 参加者の総数 約 200 人

(出身・国籍別内訳

日本人 約200人

(5) 開催時間数(回数) 6 時間 (全6 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年 10月12日 10:00~ 11:00	2時間	若菜ふれあい地域センター	34	日本(33) 韓国(1)	異文化理解とやさしい日本語	地域在住外国人と日本人の共生のために、異文化理解とやさしい日本語の考え方を知る。	斎藤明子	なし
2	平成25年 10月14日 10:30~ 15:00	5時間	神戸YWCA	40	日本 他	異文化理解とやさしい日本語	地域在住外国人と日本人の共生のために、異文化理解とやさしい日本語の考え方を知る。	福井武司 後藤範子 奥未知留	斎藤明子
3	平成26年 2月12日 2月20日 14:00~ 15:00/ 15:30~ 16:00	1時間 ×4回	神戸市中央区役所	134	日本	異文化理解とやさしい日本語	地域在住外国人と日本人の共生のために、異文化理解とやさしい日本語の考え方を知る。	水野マリ子	斎藤明子

(7) 参加者の募集方法

1. 地域の自治会や住民にチラシを配布。
2. 神戸YWCAのバザー紹介ちらしにこの情報を入れ配布。
3. 区役所市民課の研修会から呼びかけ。

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

・地域の自治会に呼び掛け、普段外国人との接点のない日本人に集まったもらい、異文化から来る誤解の例を知り、理解を深めた。日本人が外国人とコミュニケーションをとる時に犯す間違いについても認識ができた。例えば「英語ができないと外国人と話せない」「外国人はカタカナ語のほうがわかる」といった誤解や「敬語を使ってしまってかえってわからなくなる」現象などについて具体的に話を進め、共有してもらった。

また、講座の最後に実際に地域在住の外国人等に対し、「大型ゴミの捨て方を教える」「地域の子育ての集まりに招待する」などのタスクを受講者に試してもらった。

・神戸YWCAのバザーにおいて、異文化理解の入り口として、YWCAで日本語を学んでいる学生による母国料理の販売、民族衣装を着てみる企画などを実施。またそれに続いて、やさしい日本語ミニ講座の実施した。バザーに来ていた一般日本人の参加があった。

・神戸市中央区役所の研修会の位置づけで、「やさしい日本語」講座を4回実施した。神戸市中央区は外国人の人口密度が高い地域である。まず講義で「やさしい日本語」の必要性を共有した後、ワークショップを行った。ほとんどの課の職員が参加したので、それぞれの課で発行されている書類をやさしく言い直す練習を行った。例えば、生活保護の申請、児童手当の申請、転入届などである。

講座は各1時間を4回に分けて行った。日頃外国人に接することの多い区役所の職員の出席率は高かった。



10月12日
若菜地区ふれいあいのまちづくり協議会における
実施風景



10月14日(月・祝)
神戸YWCA バザーにおけるワークショップ

(9) 取組の目標の達成状況・成果

1～3ともやさしい日本語」への理解が格段に深まった。1では、終了後の話から今まで外国人とコミュニケーションをとるのが難しいと思い込んでいた地域日本人からは、やさしい日本語の考え方が「目からうろこだった」という評価が得られた。講座の最後におこなった実践課題では、積極的に試してみようとする人が多くいた。2では、料理や民族衣装のきっかけもあり、販売担当の外国人に話しかける姿が多く見られた。

3ではアンケートを実施(別紙添付)、参加者ほとんどから「よくわかった、まあまあわかった」「窓口で役に立つと思う」という回答が得られた。実践的でわかりやすかったのがよかったようだ。また、複数の他区からのサービスディレクターの参加があり、ぜひ各区でも実施したいという強い関心が寄せられた。

(10) 改善点について

・区役所のアンケートではやさしい日本語と同時に、「外国人にわかる単語集(各国語版)が必要ではないか」という意見があった。どうしても覚えなければならない単語(例:戸籍、世帯主)は言い換えよりも単語そのものの意味を知らせるために、単語帳の作成が急がれるだろう。

・今回は地域の自治会に協力をお願いして「やさしい日本語講座が実施できた。今後もっと一般の日本人に普及させていくための工夫がいる。今回協力体制がとれた社会福祉協議会、区役所等との連携を強め、さまざまな地域でこの講座を実施する必要がある。

○取組3-2:多文化共生社会の実現に向けた講座「異文化理解」講座

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日本語教育、行政、外国人支援団体などそれぞれの専門分野を持つ機関・団体と協働し、外国人生活者が生活する地域住民に異文化理解を促し、日本語教育の必要性を知ってもらう機会を提供する。異文化理解への意識を高めることで、それまで支援者や行政に委ねられていた外国人生活者(日本国籍含む)の取組を地域レベルで検討する環境を作る。外国人支援に関係する日本人、地域在住日本人取り組む各団体とのコラボにより、協働でプログラムに取り組む形を整える。

(2) 取組内容

外国人社会を考える時に異文化理解は必須のものになる。今回は国の一つとしてベトナム社会を取り上げ、日本在住のベトナム人社会の現状と課題を知り、共有する。

(3) 対象者

外国人支援に関わる人、地域在住日本人、外国人

(4) 参加者の総数 22 人

(出身・国籍別内訳

日本21人 フィリピン人1人

(5) 開催時間数(回数) 2 時間 (全 1 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年 12月14日 2時半~4 時半	2時間	神戸YWCA	22人	日本	異文化理解	神戸におけるベトナム人コミュニティの変遷、現在の状況と課題	ベトナム 夢こうべ 代表ディ エップ	村西優季

(7) 参加者の募集方法

阪神間の日本語ボランティア教室、外国人生活者支援団体、個人支援者等にチラシを送付、広報協力を要請。また、神戸YWCAホームページ、Facebook、関係団体のメーリングリスト等に掲載した。NGO外国人救援ネットの講座等での配布。

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

日本に定住するベトナム人家族において、日本の公教育を受けた子供世代と、両親の間に共通の言語が失われてきている。そのため家庭内でのコミュニケーションがうまくいかず、子供の精神的成長に影響が出ている。母語保持は今後さらに取り組むべき重要な課題である。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

一つの国の例ではあるが、日本に定着した外国人の家庭がどのような状況にあるかということ、またその課題が共有できた。今回の外国人と日本人の共生を考えるために役立った。

(10) 改善点について

今回の内容がベトナム社会に特定したために、聴衆はそれに関心を持つ人あるいは支援者に限られた。外国人と日本人の共生というテーマのためには、一般日本人が関心を持ち参加したくなるような切り口、工夫が必要だった。

○取組3-3:多文化共生社会の実現に向けた講座

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日本語教育、行政、外国人支援団体などそれぞれの専門分野を持つ機関・団体と協働し、外国人生活者が生活する地域住民に異文化理解を促し、日本語教育の必要性を知ってもらう機会を提供する。異文化理解への意識を高めることで、それまで支援者や行政に委ねられていた外国人生活者(日本国籍含む)の取組を地域レベルで検討する環境を作る。外国人支援に関係する日本人、地域在住日本人取り組む各団体とのコラボにより、協働でプログラムに取り組む形を整える。

(2) 取組内容

神戸YWCAが今年度取り組んできた「地域の日本人と外国人の共生」のテーマに沿って、協働した機関・個人が気付いたことや得たことを、参加者全体で共有する。地域での共生に向けて今後の課題を明らかにし、今後へのヒントとする。また同様に地域で多文化共生に取り組んでいる団体や個人に広く知ってもらい、情報交換をすることで、共に今後の活動に役立てる。

(3) 対象者

地域在住日本人および地域在住外国人、外国人支援団体等

(4) 参加者の総数 30人

(出身・国籍別内訳

日本28人 韓国1人 タイ1人

(5) 開催時間数(回数) 2 時間 (全 1 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年 3月1日 2時~4時	2時間	神戸YWCA	30人	日本 タイ韓国	地域の日本人と外交人の共生	行政・地域在住外国人・NGO団体それぞれの立場で関わった経緯と内容を発表。フロアーとの意見交換により理解を深めた。	パネラー ・神戸市中央区社協主幹 棚野野恭範 ・ソロソロ会代表 全美玉 ・神戸外国人救援ネット 村西優季 ・講師 中央区役所 市民課 小田直子 講師:水野マリ子	斎藤明子

(7) 参加者の募集方法

- ・こどもネット、兵庫県在日外国人教育研究協議会等、ネットでの呼びかけを実施。
- ・神戸YWCAのFacebook、ホームページに掲載
- ・日本語ボランティア教室等へのチラシ配布。
- ・兵庫ボランティアネットワークのメンバーへのちらしによる呼びかけ。

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

まず、神戸YWCAから今年度のテーマに沿って、活動の方針と方向、実施内容を報告。ついで、4人のパネラーからそれぞれの立場からこのテーマに関わった経緯と成果について述べた。様々な地域、諸団体からの出席が多かったフロアーからは、各地域の事例を挙げた発言、それぞれの立場からの意見交換が行われ、テーマについて理解を共有し、意識を深めることができた。



3月1日 シンポジウム風景

(9) 取組の目標の達成状況・成果

今回の取り組みが、形となるまでの経緯から形となった活動、及び今後の展望までが一つの流れとして共有できた。今後地域の日本人と外国人の共生に向けて、諸団体が行政が共同して取り組めることが確認できた。また、一般日本人への取り組みに踏み出した結果、この方向が今後より一層必要になることが確認できた。ネットを通じて呼びかけたために、遠方からの参加もあり、各地域での課題が共有できた。

(10) 改善点について

今回の行政やNGO団体との協働はうまくいった。目的とする地域在住一般日本人を巻き込むことためには、日ごろから地域との関わりを継続して作っていくことが求められる。これはまだ緒についたばかりで弱い部分である。今回は自治会組織とのかかわりを持ったが、もっと範囲を広げて地域との関係を深めていかねばならない。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

既に日本社会は、多文化社会となったが、日本語を母語としない人たちの中には、生活していく上で必要な情報(職探し、子育てに関する案内等)を得ることが難しく、地域の中で孤立している人も多い。それは、日本語力の不足や、文化的差異から、日本社会に馴染めないことに起因する。これにより仕事を得ることが困難になり、生活の基盤が不安定になるケースも少なくない。外国人生活者のためのプロによる効果的継続的な日本語教育が必要となっている。

神戸市内では地域の支援団体による日本語教育、生活相談、医療相談等、また行政の取組による生活支援、自立支援等、が実施されている。しかしながら各支援団体間の連携は緊密ではなく、包括的、効果的な支援に結びつきにくいのが現状である。また、外国人生活者にとって一番身近である地域の日本人との交流は未だ難しい。地域住民と外国人生活者、相互のための異文化理解プログラムの実施が喫緊の課題である。

これらのことから、当事業の目的を①日本語が不自由な阪神間の日本語を母語としない外国人生活者(日本国籍含む)が自立した生活を営むために不可欠な日本語教育を提供すること、②それを継続していくための環境作りと体制整備とする。

(2) 事業目的の達成状況

協議会では、それぞれ異なる立場の日本人・外国人がそれぞれの視点から見た「共生」についての意見をもち寄ることができた。また意見交換することによって、「共生」のためにどのような方針で何をすればよいかが見えてきた。ついで、外国人側には日本人とコミュニケーションをとるための日本語学習のクラスを実施した。これは正しく、丁寧な日本語で話せるよう、運用力をつけることに重点を置いた。生活から日本語を学んでいた学習者は、きちんとした日本語の基礎を学び、「共生」のための質の高い日本語運用力を身に着けることができた。日本人側への働きかけとして、外国人とコミュニケーションを取るための異文化理解と「やさしい日本語」という概念の気づきへの働きかけが実施できた。地域や公的な場での実施につながったことは大きい成果である。やさしい日本語と同時に、異文化理解のための講座も実施できた。これは言葉と同時に、異文化への関心と理解が共生にはまず必要だからである。最後にこのテーマの集大成として、この企画をどのような視点に立ち、どのような方法で実施したかを、多くの人に共有してもらうためのシンポジウムを実施し、発信することができた。

(3) 地域における事業の効果、成果

協議会では、様々な立場にある日本人・外国人がともに「共生」について意見を述べあい、共有することができた。これにより「共生」というテーマが多角的に討議され、出席者が代表する組織に包括的なものとして伝わるという効果があった。例えば、学校PTAからの出席者は、外国人・日本人サイドからの感じ方の差異を実感し、理解できた。これはそれぞれの属する団体に伝わるだろう。また、共通認識として、「共生」のための方針だけだせたことは大きな成果である。外国人の日本語学習においては、日本人に伝わるコミュニケーションの方法や日本人の考え方も学んで、誤解の生じることなく「共生」できる一歩になった。異文化理解とやさしい日本語の講座は、日本人側において、母語を見直すよいチャンスとなった。排他的になりやすい地域住民にとって、異文化と日本語への気づきは大きな助けになるだろう。

今回の企画は、ボランティア団体、行政など多くの期間との協働で進められた。「共生」という視点が夫々に共有された結果、外国人の日本語教育の必要性の認識が高まり、効果的な日本語学習につなぐ割合が高くなる。行政や各NGOは、積極的に日本語学習へと外国人を導くことができる。また、地域住民にやさしい日本語の概念が浸透すれば、日本人が日本語で外国人とコミュニケーションをとろうとすることにつながる。これらの効果で、外国人は日本語を学ぶことの意義を十分に意識でき、より日本語学習への積極性が生まれるだろう。今年度は、このような循環がうまく回るような活動の緒についたと言える。

(4) 改善点, 今後の課題について

i 現状

「やさしい日本語」という概念と方法は、役所での普及は一つの区で実施された。また、地域住民向けの講座もある限られた地域の住民に認識されたばかりである。また、その地域に在住している外国人はいるのだが、地域の日本人とのふれあいがなかったために、住民に見えていないケースも多いことがわかった。

外国人が学ぶ日本語学習は頻度を高くしてこそ効果が出ると考え、今回の日本語学習は当初は週3回10週を目標とした。しかし、この頻度で全期間継続して学習できる受講者は少ないと考えたため一期二期と分けた。その結果10週を継続した受講者もいたが、意欲の点で一期で終えた受講生もいた。

ii 今後の課題

「やさしい日本語」の概念と方法を、今後、より広い範囲で実施していき、多くの地域住民を巻き込む必要性がある。

外国人の日本語学習は、必要度の認識によって、また日本社会への理解度によっても参加度が異なる。例えば、地域住民や行政の支援によって、協働して日本語の必要性への認識を高めていくことが必要である。各団体、行政、地域とのコラボによって、上記の見えない外国人の「見える化」は大きな課題になる。

iii 今後の活動予定

・生活のための日本語のカリキュラムの検討。